

## 実験動物麻酔装置 SN-487-0Tシリーズ 選定チェックシート

- 対象動物： マウス ラット マーモセット ウサギ  
対象動物により、流量計を0～1リットル/min もしくは0.5～5リットル/minを選択
- 維持麻酔匹数： 1匹 複数匹( 匹)  
導入用麻酔ボックスの大きさの選択にもつながります
- 気化器： イソフルラン セボフルラン
- キーフィルター注入器： 医薬用 試薬用  
使用する麻酔薬が医薬用もしくは試薬用かを確認してください
- キャリア気体： 空気 酸素 笑気 二酸化炭素 窒素 その他( )  
空気はエアポンプ(AC100V)、空気以外は専用レギュレーターを用意  
二酸化炭素は安楽死の併用が目的
- キャスターの必要性： 必要 不要  
キャスター付きは、ドラフトチャンバー・クリーンブース・安全キャビネット内での移動が容易になります。
- 回収機能の必要性： 必要 不要  
2009年に起きた京都大学動物施設内の麻酔事故以来、実験者への健康・安全の確保が求められています。
- 麻酔ボックスとマスクへの同時供給： 必要 不要  
マスクで麻酔維持(処置)を行いながら、麻酔ボックスへも麻酔ガスを供給し、次の動物を準備しておくことができます。
- 余剰麻酔ガス検知器： 必要 不要  
吸着剤の交換時期をアラームにより知ることができます。
- 周辺器材
- 麻酔ボックス： 大 中 小  
特寸法も対応可能です。
- マスク： マウス・ラット用 マーモセット用
- 人工呼吸器との併用 有り 無し  
余剰ガスポップオフバルブの必要性